

マーケットの動き（2025年12月22日～12月26日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。週初は12月の日銀金融政策決定会合を受けた金利上昇が継続し、長期金利は一時2.1%をつけ、1999年2月以来の高水準となりました。その後、拡張的な財政政策への警戒感が後退したことや、来年度の国債発行計画の公表を受け、需給環境の改善が意識されたことなどから、金利は上昇幅を縮めました。クレジット市場は、引き続き堅調に推移しました。

投資環境見通し（2025年12月）

国内長期金利に対する上昇圧力は続く

日銀が12月ないし来年1月の金融政策決定会合で利上げを行うとの見方が広がる中、政府による高圧経済志向を背景とした2025年度補正予算ならびに2026年度当初予算の拡大が予想されることもあり、国内長期金利に対する上昇圧力は続くとみています。

	12月26日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	2.04	0.03	0.23	0.64	0.95
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	336.53	▲0.04%	▲1.06%	▲3.58%	▲5.97%

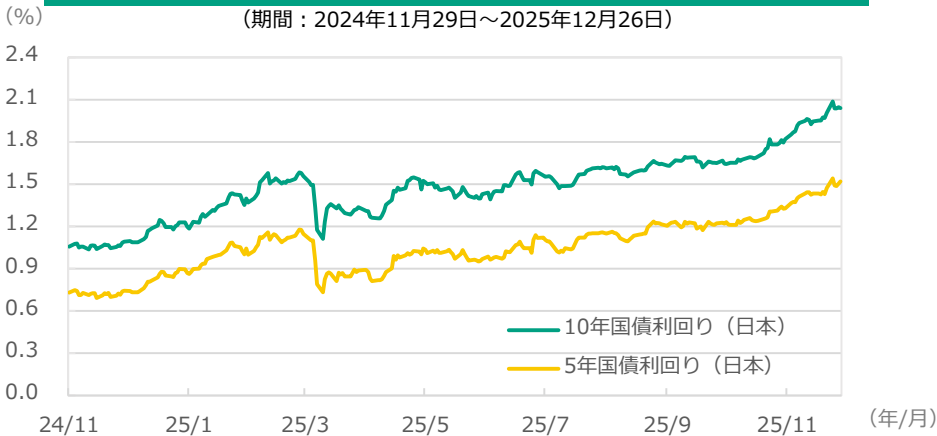
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202512_outlook.pdf

日本国債利回りの推移

（期間：2024年11月29日～2025年12月26日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年11月29日～2025年12月26日）



※2024年11月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>